

令和6年3月1日

保護者様

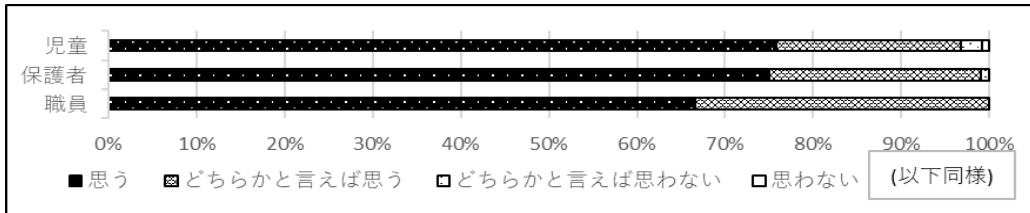
名古屋市立東海小学校長
光川 秀成

学校評価アンケートの結果について

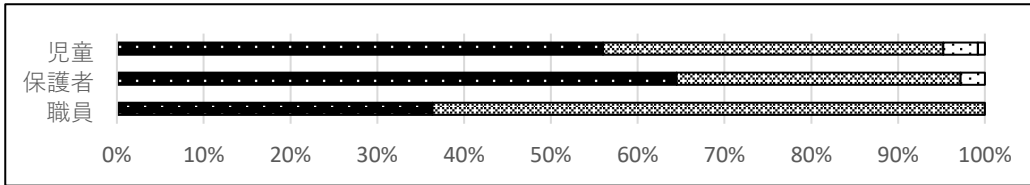
先日は、学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

児童・保護者・職員の3者で、同様の項目のアンケートを実施し、それらの結果を比較して課題を明らかにしていきたいと考えました。アンケートの結果を次のようにまとめましたのでご確認ください。来年度の教育活動に活かしていきたいと思えます。

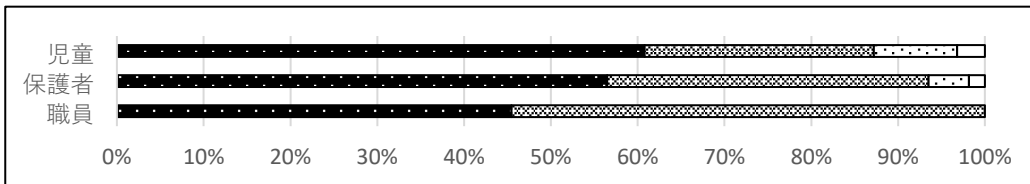
1 楽しく学校生活を送ることができた。



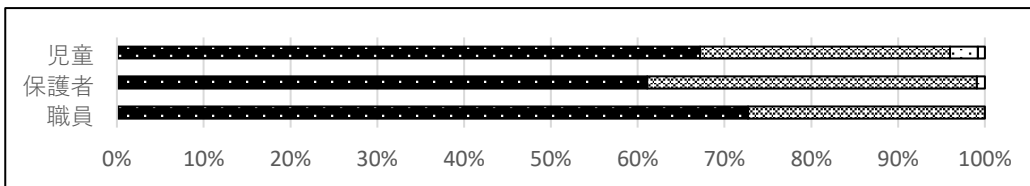
2 安心して先生と話したり相談したりすることができた。



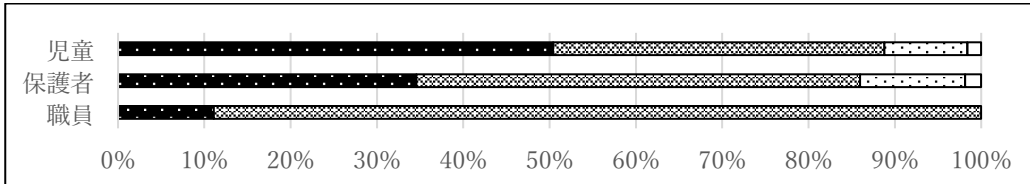
3 いろいろな学年の友達とも仲良く過ごすことができた。



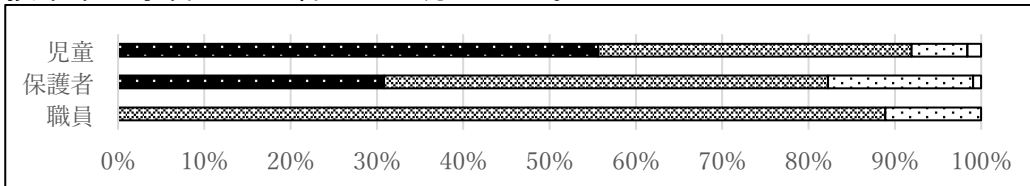
4 友達と協力することができた。



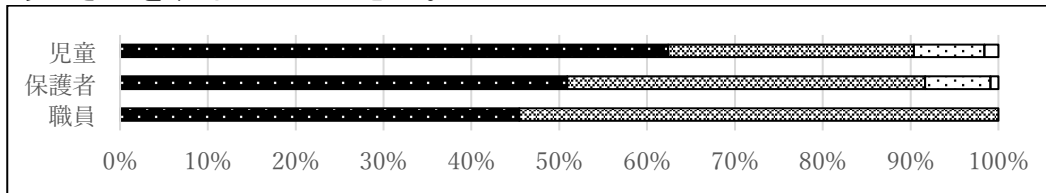
5 進んで学習に取り組むことができた。



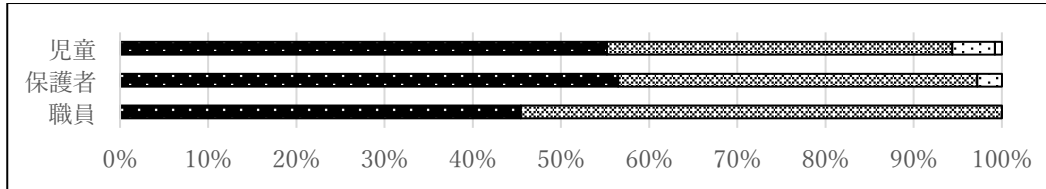
6 授業中に学習した内容がよく分かった。



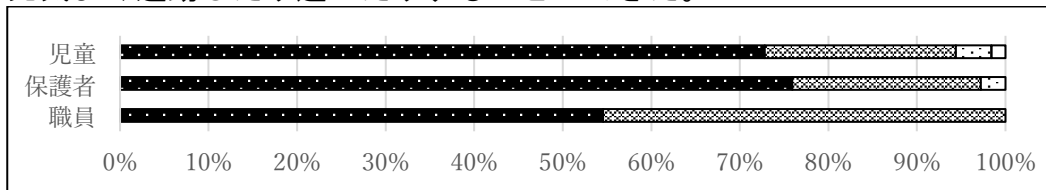
7 あいさつをすることができた。



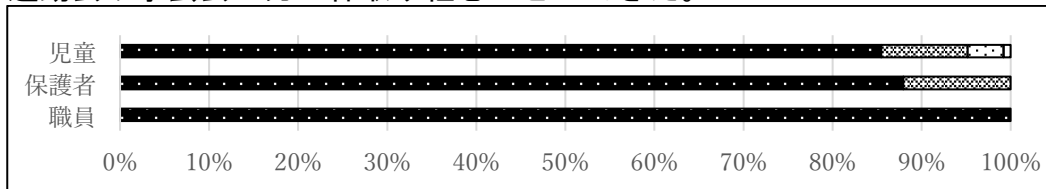
8 学校のきまりを守ることができた。



9 元気よく運動したり遊んだりすることができた。



10 運動会や学芸会に力一杯取り組むことができた。



☆ アンケート結果から（改善点を中心に）

- 質問3は、今年度、新たに学校教育目標として設定した内容です。今年度、コロナ禍により休止していた異学年の子ども同士で交流する縦割り班の活動を再開しました。楽しく活動する様子は随所に見られましたが、子ども同士の関わりを深める点においては、不十分でした。来年度は班の中で、高学年の子どもたちが中心となって活動したり、自分たちで活動内容を考えたりする機会を増やすことで、深く関わり合えるようにし、異学年同士のつながりを強めていきます。
- 質問5は、保護者の肯定的な評価が90%を下回る結果となりました。本校では、全学年、各学級の実態に合わせて、子どもたちが自分の興味・関心や必要感に応じて取り組む内容を決められる「自学ノート」を宿題の一つとして出しています。しかし、「家では自主的にやっていることがない」「自主的に予習・復習をやってほしい」との声もいただきました。そこで、来年度は、興味・関心を抱けるような学習の具体例や見本となるノートの取り方を提示することで、子どもたちが自分自身で取り組む内容を考えるよう促します。また、毎回自分なりの「めあて」と「ふりかえり」を書くようにすることで、目的意識をもつことや自分自身の学びを見つめることの大切さを伝えていきます。
- 質問6は、保護者の肯定的な評価が全ての質問の中で最も低くなりました。職員の数値を見ても、力を入れていくべき課題だと考えます。学習したことや身に付けたこと、学習の仕方などを自分自身で捉えて表現したり、記録したりすることで、学習への理解度をより深めることができると考えます。これらのことを来年度の「学校努力点」として掲げ、重点的に取り組んでいきます。
- 質問9は、今年度、新たに学校教育目標として設定した内容です。休み時間は積極的に教員も運動場に出て、子どもたちと一緒に遊びました。また、異学年の子どもたちとも一緒に遊ぶ姿が見られたり、一輪車や竹馬の貸し出しも再開されたりしたことで、子どもたちの交流や遊びの幅も広がりました。引き続き、子どもたちが元気よく遊んだり運動したりすることができるよう働きかけていきます。